



よくまなび よくあそび
～ 人生を拓く力の育成 ～
まなび いっぱい
やさしさ いっぱい
げんき いっぱい

感謝の心で人は輝く！

新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の中での開催となった「東京 2020 オリンピック競技大会」。17 日間にわたる熱戦、アスリートの清々しい姿は、想像を超える喜びと感動を私たちに与えてくれました。

柔道のメダルラッシュ。ソフトボールの13年越しの連覇。見事に世代交代を成しえた体操、レスリング。東国分中学卒業の三好南穂選手、昭和学院中高出身の赤穂ひまわり選手が、主力メンバーとして活躍した女子バスケの銀メダル。また、メダル確実と期待されながら、惜しくも敗退してしまった選手やチームもありました。ほんのわずかな差、時の運で、スポーツの勝者と敗者は残酷なまでに分かれてしまいます。勝った者が一番努力したとは限らないし、努力した者が必ず勝つわけでもありません。オリンピックならではの白熱の展開の数々に、テレビの前に釘付けになった人は多いと思います。

心を打たれたのは、プレーだけではありません。競技を終えた直後のインタビューで、「感謝」の気持ちを伝える選手が多かったことも象徴的でした。

「家族に感謝です」「応援してくださったすべての方に感謝します」「開催していただいたことに感謝」等々、限界に挑み、苦闘を勝ち越えたアスリートが思いを伝えた相手は、家族や友人、練習パートナー、ライバル、恩師などの接する人々はもちろん、ボランティアをはじめ大会実現を陰で支えた全ての人たちでした。

感動をいただいた私たちも、全オリンピックと大会開催に携わった多くの人たちに感謝と称賛の拍手を送りたいと心から思います。

さて、ずっと前から思っていることがあります。それは「ありがとうございます」と言える人、些細なことにも感謝できる人は、ほぼ間違いなく「人のために尽くすことを厭わない人」であるということ。そしてまた、「人のために尽くすことを厭わない人」からは、一様に「ありがとうございます」という言葉がよく聞こえてくるということです。

感謝のない人は、自分のために人が何かをしてくれても「当たり前」だと思ってしまうのかもしれない。

「朝、起こしてくれるのは当たり前」「ご飯をつくってくれるのは当たり前」「優しくしてくれるのは当たり前」「勉強することができて当たり前」……。

「当たり前」の反対は「有り難い」ともいうそうです。この「当たり前」を「ありがとう」の言葉に置き換えれば、どれだけの人が笑顔になるでしょう。

親への感謝、友人への感謝。身近な人への感謝。なかなかできない時もあるかもしれませんが、大洲小の子どもたちから「ありがとうございます」が、もっともっと聞こえてくることを願っています。



ブラスバンド部 堂々の銀！

7月22日に千葉県文化会館で行われた千葉県吹奏楽コンクールに参加しました。

大洲小学校のブラスバンド部は、これまでの間、感染症対策に取り組みながら毎日一生懸命練習を続けてきました。コロナ対策のため無観客での開催となりましたが、満を持しての参加です。今まで頑張ってきた成果を発揮し「プレリユードとパスイート」を演奏。

ほとんどのメンバーが、大きな素晴らしい会場で演奏するのが初めてでしたが、物怖じすることなく、素晴らしい演奏ができました。

☆部員の感想☆

「心を一つに、素晴らしい演奏ができました」

「緊張したけど、みんなで演奏できてよかった」

「ホールが広くてびっくり。ちょっとあせったけど、精いっぱい頑張った」

「来年は必ず“金賞”をとる！」



緊急事態宣言が発出されています

市内の全小中学校では、児童の安全を確保するため、8月末に全教職員がPCR検査を行いました。ご家庭におかれましても、感染防止対策の徹底のご協力をお願いいたします。

- マスクの常時着用 ※文科省通知では不織布を推奨しています。
- 同居家族に体調不良者がいたら、児童の登校を控えるようお願いいたします。
- 緊急事態宣言発出中の「まなびくらぶ」休止（4年生）…22日、29日は開催予定

確認!

保護者アンケート（学校関係者評価）より

6月に前期の保護者アンケートを実施しました。お忙しい中、ご協力をいただきありがとうございました。回答から、学校に寄せる期待や要望の大きさが伝わってまいりました。これからの教育活動に生かしてまいります。（集計結果は裏面をご覧ください）

○各項目とも、概ね肯定的な評価をしていただいておりますが、「信頼される学校」の項目の「学校は、特色ある取り組みや教育を進めている」の肯定的な評価が、市内小学校全体のそれより3ポイント下回りました。また、「学校は、目指す子どもの姿や学校経営方針について、保護者に理解されるよう努めている」の肯定的な評価も市内全体と同程度でした。コロナ禍のため、行事の中止や縮小、保護者が学校に来る機会の減少等で、学校の取り組みがなかなか理解されていない面もあるのではないかとこの意見もいただいています。期待に応えられるように努力するとともに、各種たよりやホームページ等で、学校の様子を積極的に発信してまいります。

○「豊かな心」の項目では、「お子さんは、いじめはいけないことと理解し、行動している」の肯定的な評価は99%でした。家庭教育や学校教育を通して人権の意識が育まれていることの証左と思えます。大洲小学校として大切にしたいことの一つです。

○「健やかな体」の項目では、「お子さんは、自らの安全（交通事故・けがなど）に気を付けて生活している」、「お子さんは、健康で衛生的な生活を送ることを自ら心がけている（手洗いうがい、身支度、整理整頓など）」について、肯定的な評価がそれぞれ93%、92%でした。PTAや地域の方々に協力をいただきながら、安全教育を充実させたいと考えます。また、コロナ禍もまだ続くことから、児童の手洗いうがいの励行や、消毒等の学校の衛生管理にも努めてまいります。